

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月23日

事業所名 放課後等デイサービス デイジー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			上手くスペースが確保できるように今後は室内のレイアウトを変えていきたい
	2	職員の配置数は適切である	3	2		配置基準は適正だが業務上、あと1~2名余剰人員を持ちたい。欠勤が生じた際、その状況下で送迎に行くと人員基準を満たせないときがある。支援の充実のためサービス提供時間内の職員追加を検討。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者様向け改善アンケートの配布。放課後等デイサービスサービス評価票のほか、毎月のアンケートを実施し、ご意見を取り入れるようにしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			本部からの勉強会
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			アンケートの意見の共有
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			定期的な話し合い
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			定期的に現状を見て変更。活動内容や固定の曜日なども作らないように利用者様が様々な活動を行えるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			休日には外出や調理を入れる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個別の能力に応じた課題形成
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			朝礼での打ち合わせ
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			モニタリングシート作成時に共有	

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日々記録している。今後ICT化を行い、PCでの記録を行っていく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		モニタリング内容の見直し
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5		

関係機関 関や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			一般職員の参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			送迎時にその日の活動等の確認	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			5		保護者様から情報提供いただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2			支援センター等への定期的訪問
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3			公園などへの外出の際や、共同でのイベント参加(コロナ感染症対策で積極的にはできず)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4			コロナのため積極的に参加は出来ていない(感染症対策)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				連絡ノートなどに記入。自宅送迎時に報告。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			5		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				できるだけ話を聞くようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		コロナのため今は出来ていない(感染症対策)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				苦情の内容を全員で共有
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1			
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				写真や絵でのアピール
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4			コロナのため今は出来ていない(感染症対策)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			常に新しいものに更新している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			室内・屋外で行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			朝礼時に確認。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		本部からの勉強会や日々の確認。拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			冷蔵庫に貼り確認
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			